

小千谷市民の家・小千谷信濃川水力発電館 施設概要

簡易宿所「小千谷市民の家」や、水力発電の仕組みが学べる「小千谷信濃川水力発電館」、キャンプ区画、体育館を有する複合施設です。



施設概要①

所在地	小千谷市山本1216番地3
開館	平成28年7月
構造等	鉄骨造2階建
敷地面積	15,922㎡
延床面積	1,437㎡
主要施設	宿泊棟 水力発電館 芝生広場 (キャンプ区画・自由広場) 体育館 ドッグラン
開館時間	(4月～10月) 9:00～18:00 (11月～3月) 9:00～17:00
休館日	毎週水曜日 年末年始(12/29～1/3)
アクセス	関越道小千谷ICから車で約8分
周辺施設	山本山山頂展望台



施設概要②

宿泊棟	最大90人宿泊可 ・ 8人部屋(2段ベッド×4)×6室 ・ 2人部屋(ベッド×2、ユニットバス)×1室 ・ 研修室(宿泊可：定員40人) ・ 食堂、厨房 ・ 大浴場、シャワールーム
水力発電館	J R 信濃川発電所の歴史や発電のしくみを学べる施設(入館無料)
芝生広場	・ キャンプ区画 全20区画(約10m×10m) ・ 自由広場 ・ 冬期間は雪遊び広場として無料開放
体育館	軽運動可(25m×15m) 昭和41年建築
ドッグラン	使用無料
駐車場	普通車50台、バス2台



使用料金一覧

基本額

基本額				金額	人数加算額
区分	単位		金額		
宿泊棟	宿泊室	1室（定員8人）	1泊（午後3時から翌日の午前10時まで）	8,140円	1泊につき、大人1,200円、中学生以下600円
		1室（定員2人）		8,140円	
	研修室	1室（定員40人）		16,290円	
		1室	1時間当たり（午前9時から午後5時まで）	1,220円	—
	食堂	1室	1,010円	—	
	厨房	1室	1,010円	—	
体育館	1室	880円	—		
芝生広場	1区画	1泊（午後1時から翌日の午前10時まで）	2,000円	200円	
		日帰り（午前10時から午後5時まで）	1,000円		
	自由広場（2分の1を超える範囲を使用する場合）	日帰り（午前9時から午後5時まで）	20,000円	—	

小千谷信濃川水力発電館について

本施設は、小千谷市と東日本旅客鉄道株式会社が、「小千谷市民の家」及び「小千谷信濃川水力発電館」を一体的に整備した施設です。

「小千谷市民の家」は小千谷市が、「小千谷信濃川水力発電館」は東日本旅客鉄道株式会社がそれぞれ所有しており、両者の協定に基づき、本施設の維持管理を小千谷市が行っているものです。

なお、「小千谷信濃川水力発電館」内の展示物は東日本旅客鉄道株式会社が所有・維持管理を行っています。



業務内容

- 1 施設の運営（受付・使用許可、使用料徴収、広報、HP管理ほか）
- 2 施設・設備・物品等の保守管理
- 3 自主事業（集客イベントほか）
- 4 その他（事業計画書・報告書の作成ほか）



隣接地への敷地拡張による施設整備について

施設の南東側に隣接する農地（私有地）は、雑木を伐採することにより、越後三山や信濃川の雄大な景色を眺めることができます。

また、隣接地であり既存施設の屋外トイレなどの設備を活用できることから、敷地の（全部または一部）拡張による施設整備により、新たな魅力を創出できないか検討しています。

